

## 第5分科会 「豊かな人間性」運営概要

【研究課題】	豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方
【研究の視点】	1. よりよい社会を創る人権教育の推進 2. 豊かな心を育む道徳教育の推進

### I 分科会研究協議の運営計画

グローバル化が進んでいる現在様々な価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きていくことや、科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人々の幸福や持続可能な社会の実現を図ることが一層重要となる。このような時代の中で、子どもたちには、自らを律しつつ、自己を確立し、他人を思いやる心や感動する心をもつ豊かな人間性を備えた人として育ち、自分らしく主体的に生きていける教育を推進していくことが求められている。

学校には、豊かな人間性と未来を切り拓く力を育む教育活動を展開していくことが求められている。その基盤となるのが、人権教育であり、道徳教育である。

人権教育については、子どもたちに人間と生命の価値を自覚し尊重することや、人と調和して共に生きること、人の痛みや思いに共感することなどを育むことを教育活動全般の中で進めていくことが必要である。

また、道徳教育については、自立した一人の人間として、人生を他者とともによりよく生きる人格を形成することを目指すものであり、子どもたちが夢や希望をもって未来を拓き、人間としてよりよく生きようとする力が育成されるよう指導の一層の充実を図っていかなければならない。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、道徳教育や人権教育などの心の教育に関わる教育実践を推進するとともに、家庭や地域等との連携・協働した取組を実現し、人間性豊かな日本人を育成するためのカリキュラム・マネジメントの具体的方策と成果を明らかにする。

### II 研究課題を究明する視点

視点1:よりよい社会を創る人権教育の推進

- ・子どもたちが互いに認め合い、思いや考えを出し合う豊かな人間関係を高める教育活動
- ・人権感覚を育むための家庭や地域社会との連携と協働

視点2:豊かな心を育む道徳教育の推進

- ・豊かな関わりの中で人間関係や自己の生き方を深める教育課程の編成と実施及び評価、改善
- ・全教職員が心の教育にかかる教育理念を理解し、教育活動全体を通して協働で創造する教育活動
- ・共通理解を深め、一体となって豊かな心を育む学校、地域、家庭の連携

### III 昨年度までの成果と課題 ～平成30年度 函館大会、平成29年度宗谷・稚内大会より～

#### 【成果】

- ・目指す子どもの育成に向け、ゴールまでの「見える化」に取り組むことが学校のビジョンを明確にし、学校内外の共通理解を深めることにつながる。(学校経営ビジョンの明確化)
- ・子どもの実態に応じた具体的な方策を共有することが重要であり、定期的な評価・改善、進行管理と進捗状況の把握が大切になる。(教育活動の質の向上と学習効果の最大化)
- ・家庭・地域等との連携、協働体制の下で取組を推進し、幼・小・中を見通した学びの系統性と子ども像の共有を図ることが重要である。(家庭・地域との連携及び異校種間の連携)
- ・道徳教育について校内研修を推進する。(授業改善・指導と評価の一体化)
- ・人権意識を高めることを進めていく。(いじめ防止、児童会と連携した子ども同士の評価など)
- ・幼・小・中の15年間を見通した学びの系統性と子ども像の共有

#### 【課題】

- ・教職員、家庭、地域の意識や取組のベクトルをそろえていく必要がある。
- ・学校が子育ての核となって地域社会の声に耳を傾けながら、経営ビジョンや取組状況を具体的にわかりやすく発信する。
- ・道徳の授業改善、教職員の資質や指導力向上のために職員評価や研修を行う。

#### IV 研究発表の概要

「豊かな人間性を育む教育課程の編成と校長のリーダーシップ」

◇研究発表者 根室地区 中標津町立中標津小学校 河原 宣孝

◇発表の概要

「豊かな人間性を育む教育課程の編成と校長のリーダーシップ」に焦点をあてて、カリキュラム・マネジメントとの側面から、豊かな人間性や人権教育、道徳教育に関して、管内の取組状況や実践例を交えながら、成果と課題を整理して校長としての関わり方について明らかにする。

#### V 討議の流れ（13：00～16：30）

13:00	1. 開会・担当者紹介	(5分)	14:40	7. 全体討議①	(15分)
13:05	2. 趣旨説明	(10分)	14:55	8. 休憩	(15分)
13:15	3. 研究発表	(20分)	15:10	9. グループ討議② <small>視点2にかかわり</small>	(45分)
13:35	4. 研究発表についての全体交流	(15分)	15:55	10. 全体討議②	(15分)
13:50	5. グループ討議の進め方	(5分)	16:10	11. 討議のまとめ	(10分)
13:55	6. グループ討議① <small>視点1にかかわり</small>	(45分)	16:20	12. 連絡・閉会	(5分)

#### VI 討議の柱

##### 視点1:よりよい社会を創る人権教育の推進にかかわって

○子どもたちが互いに認め合い、豊かな人間関係を高めていける学校づくりに向けて、  
校長としてどのように関わっていくか(役割・指導性)

【キーワード】

学校風土づくり、職員の言動や姿、特色ある教育活動、学校からの発信、隠れたカリキュラム

##### 視点2:豊かな心を育む道徳教育の推進

○豊かな心の育成に関わる教育理念を学校・家庭・地域で共有し、協働で創造する学校づくりに向けて、  
校長としてどのように関わっていくか(役割・指導性)

【キーワード】

「特別の教科 道徳」、体験活動(自然や人)の実践、自己肯定感・自己効力感の育成、隠れたカリキュラム

視点1 (人権教育)

キーワードをもとにして

視点2 (道徳教育)

キーワードをもとにして

校長としての関わりは？  
役割や指導性を明確にしながら

学校・家庭・地域の  
「連携・協働」で育む  
子どもの豊かな人間性

#### VII お願い

◇2つの討議の柱に関わって、校長としての関わり(役割・指導性)についてお考えをもって参加していただくと分科会、グループ討議もより深まったものになります、よろしくお願ひいたします。

～道徳教育、人権教育に関わる実践例や豊かな心の育成に関わって家庭・地域と連携している取組など、話し合いに活用できる資料等がございましたら、グループの人数分(10枚程度)をご用意ください。～

◇グループ内で「名刺交換」を行います。名刺をグループの人数分(10枚程度)ご持参ください。